

# 第14回

# 「善福寺川 水鳥一斉調査」調査結果

## 【水鳥一斉調査の目的】

現在の善福寺川の自然を知ることと、区民の皆さんにもっと善福寺川に注目してもらうことを目的に、善福寺川でどんな水鳥が、どこで、どれくらい利用しているかを一斉に調べる、「善福寺川 水鳥一斉調査」を実施しました。

ただし、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、〈区民参加による水鳥調査〉は中止し、〈専門の調査員による水鳥調査〉のみを行いました。

〈実施日〉 令和4年2月5日(土)10:00~12:00 晴れ

## 〈調査ルート〉

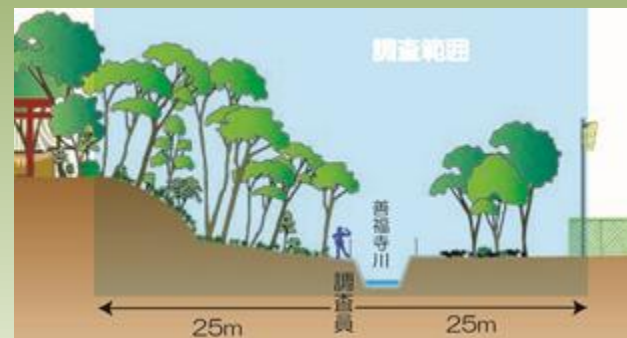


## 〈専門の調査員による水鳥調査〉

善福寺川を6区分し、それぞれの区間に約2kmの調査ルート（A～F）を設定、各ルートに出現する鳥類の確認を同時間一斉に実施しました。

調査は、一定の速度で2時間歩き、ルート上の幅50m（片側25m）の範囲に出現する鳥類の種類、個体数、諸行動について記録しました。

各ルートについて、Aルートは池の周辺に樹林や植栽帯、池内にヨシや低木が点在しています。B・Cルートは住宅地内、D・Eルートは緑地内をそれぞれ川が流れて、Fルートは住宅地からビル街にかけて川が流れています。



調査範囲



調査状況

## ◇各調査ルートの特徴



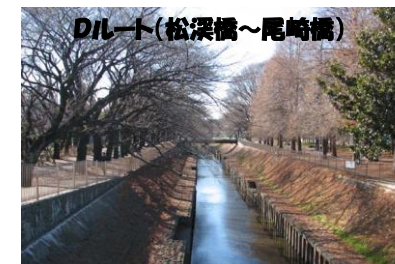
善福寺公園の善福寺池とその周辺の樹林地で、緑が多く、水辺の植物も多い



住宅地等に囲まれ、周辺は緑が少ないが、河川内に水辺の植物が比較的多い



住宅地等に囲まれ、周辺は緑が少ないが、河川内は砂州や淵がみられ、水辺の植物も多い



善福寺緑地の中を通り、緑が多く、河川内に水辺の植物が比較的多い



和田堀公園に接し、緑が多く、河川内に水辺の植物が比較的多い



住宅地等に囲まれ、川底がコンクリートに覆われ、水辺の植物はほとんど見られない

# これまでの区民参加による水鳥調査

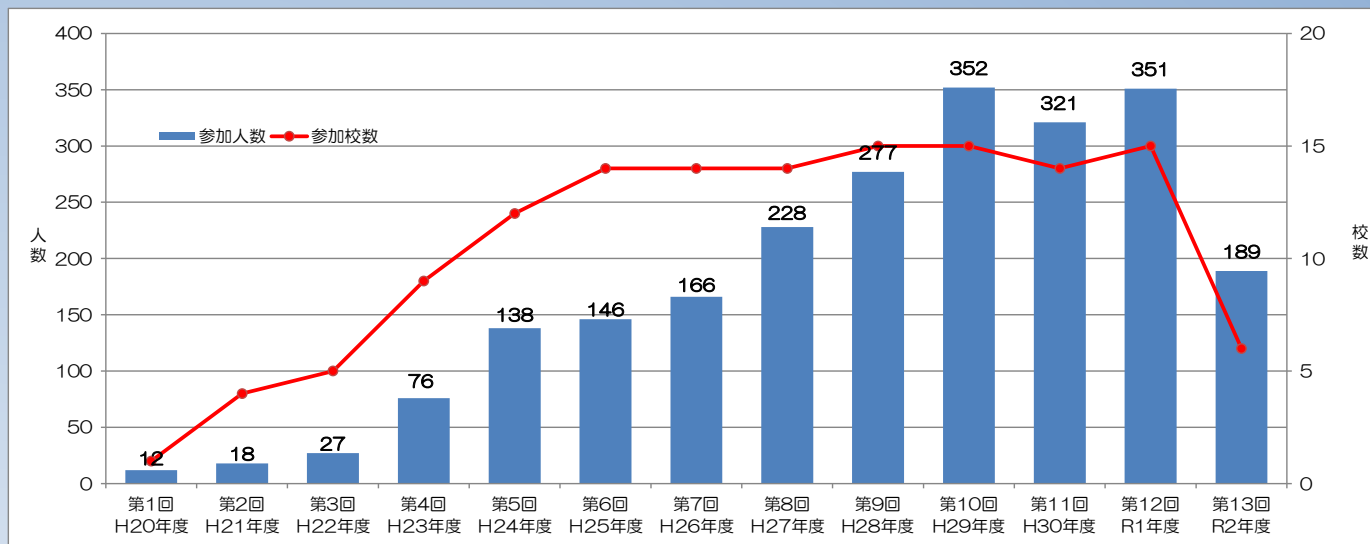
## ＜区民参加による水鳥調査＞

区民参加による水鳥調査は、善福寺川流域の小学校の生徒さんとともに、鳥に詳しい先生の解説を受けながら、善福寺川を利用する鳥について観察し、種類や個体数を記録しています。

### ◇水鳥調査参加状況の推移

第1回は小学校1校、12名の少人数で始まった調査ですが、回を重ねるごとに参加者、参加校が増え、近年は300名を超える方々に参加いただいております。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施したため、例年に比べ少人数での調査となりました。



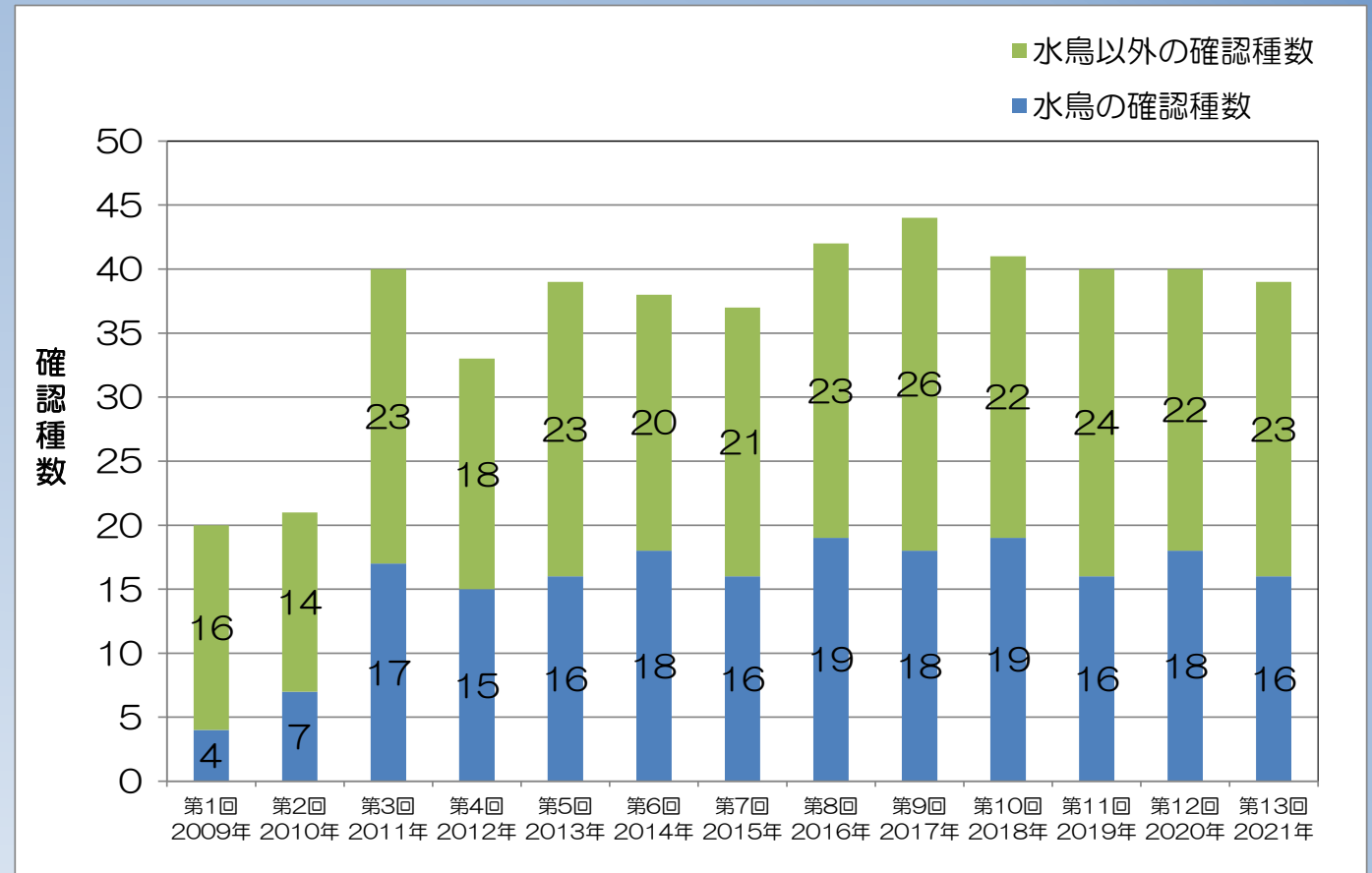
### ◇参加小学校の位置図

これまで善福寺川流域の小学校 15 校に参加をいただきました。



## ◇これまでの調査で確認された鳥の種数

第1回、第2回の調査では、確認された種数は少なく、20種類程度でしたが、参加者や調査範囲が増えることにより、種類も増え、近年は、水鳥、水鳥以外の種類がそれぞれ20種近くを観察できるようになりました。



# 専門の調査員による水鳥調査の結果 1

今回の専門調査員による調査では、善福寺川全体で39種類の鳥類（水鳥以外の鳥も含め）が確認され、このうち「水鳥」は、18種類でした。

全体を通して最も多く見られた水鳥は、「カルガモ」「コガモ」「オナガガモ」でした。

最も多くの種類が確認されたルートは、今年もAルート（善福寺公園）で、善福寺池を中心に多くの水鳥が確認されました。

今年の鳥の合計確認個体数をみると、Cルートが多く、次いでAルートでした。

水鳥以外では、ドバト、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラスなどが多く観察されました。

目名	科名	種名	全体			Aルート			Bルート			Cルート			Dルート			Eルート			Fルート				
			2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年	2022年	2021年	2020年		
カモ	カモ	オシドリ			1			1																	
		オカヨシガモ																							
		ヒトリカモ	6	25	21				6	8	3			17	18										
		マガモ	2	3	3	2	2			1	3														
		カルガモ	156	196	212	32	58	45	6	4	24	25	38	52	15	10	13	45	38	54	33	48	24		
		ハシビロガモ		4	5		4	3			2														
		オナガガモ	106	177	159	5	9	2	11	34	31	54	54	85	3	22		6	10	1	27	48	40		
		コガモ	127	76	92		3	3	33	16	30	70	40	40	9				4		15	13	19		
		ホシハシロ	3	10	6		8	1			2		2	3								3			
		キンクロハシロ	17	53	13	16	39	5			5		4	3			3			7		1			
スズガモ																									
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	6	8	7	6	8																	
ハト	ハト	キジハト	12	20	14	2	3	4	1	2		4	2	1	2	8	2	1	4	6	2	1	1		
カワトリ	ウ	カワウ	2	5	9		2	2		2	4	2		1											
ヘリカン	サキ	ゴイサキ	7	9	10	7	9	10																	
		アオサキ	4	8	7	4	8	6															1		
		ダイサキ	2		2	1		1	1															1	
		チュウサキ																							
		コサキ	6	3	6				2	1	3	1	1	3				1				2	1		
ツル	クイナ	ハン	2	3		2	3																		
		オオハン	1	4	3	1	4	2																1	
フクロウソウ	カモメ	カモメ																							
		ツバメ	1		1			1																1	
キツツキ	キツツキ	カケシ	7	3	7	5	3	4						1		1	1	1							
		コケラ	3	10	7	2	2						1		5	2	1	2	5						
		アオケラ	1	1			1																		
スズメ	モス	モス	2	1	1	1			1									1							
		カラス	3	21	10	3	15	5					4						2	1			4		
		ハシボソカラス	8	19	19	2	5	4	2	4	1		3	7	1			3	7	7					
		ハシブトカラス	37	35	34	4	7	15				3	2			3	3	21	23	16	9				
シジュウカラ	シジュウカラ	シジュウカラ	25	70	40	8	11	15	2	2	3	1	5		3	6	7	11	5	14		41	1		
		ヒヨトリ	57	136	57	15	45	19	5	8	6	5	2	4	5	12	6	19	61	16	8	8	6		
		ウグイス	3	1	3	2	1	2																1	
		エナガ	8	8	13		6	4							8	2	2							7	
		メシロ	10	39	20	2	15	5		3		4	6	4		6	5	4	9	6					
		ムクドリ	63	149	68	4	41	10	13	4	11	9	44	6	8	6	10	17	23	21	12	31	10		
		ヒタキ	シロハラ	シロハラ		1	1		1	1															
				アカハラ		1			1																
				ツグミ	6	7	9		2	2			1	1		3	1	2	1	1	3	2	3		
				ルビヒタキ	1	1	1		1	1															
スズメ	スズメ	スズメ	55	50	23				2	7	11	38	22	2	4			7	4	8	4	17	2		
		セキレイ	9	6	13	1	1		1	1	3	5	4		1	1	1	1	4	2	1	3	3		
		ハクセキレイ	59	48	57	2	2		15	13	13	21	10	19	5	5	5	4	11	10	12	9	8		
アトリ	アトリ	アトリ	19															19							
		カワラヒワ		15												6			7				2		
ホオシロ	アオジ	アオジ	1		1	1																			
		アイカモ(アヒルを含む)																							
ハト	ハト	ドバト	151	193	154	52	56	77	18	19	13	44	89	38		4		22		3	15	25	23		
		ホシセイインコ	7	7	11	5	4	5					3	1	2		2			3					
インコ	インコ	インコ																							
		個体数	996	1425	1121	188	376	265	119	129	170	288	349	297	68	102	61	185	222	185	148	247	143		
		種類数	39種	40種	39種	27種	33種	31種	16種	17種	20種	17種	20種	22種	15種	17種	15種	19種	19種	21種	16種	13種	14種		

注 1) 青字は、水鳥（外来種は含まず）

注 2) 紫字は、外来種

注 3) 黄色の網かけは、各ルートで確認数の多い種(上位3種)

注 4) 灰色の網かけは、交雑個体であるため種類の合計には含まない

# 専門の調査員による水鳥調査の結果 2

## ◇善福寺川における14年間(14回調査)の「水鳥」の確認状況



14回の調査で  
確認された回数

	Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
11~14回 ほぼ毎回観察 される水鳥						
7~9回						
4~5回						
1~3回 観察は 稀な水鳥						

確認された種類数

20種類

16種類

20種類

10種類

13種類

11種類

# 専門の調査員による調査結果 3 (14年間の調査のまとめ)

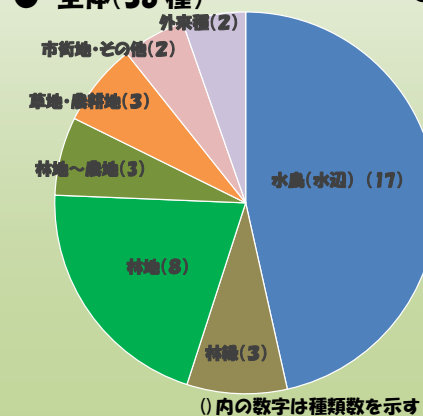
## ◇主な生育環境による区分別の確認種数(14年間)

14年間の一斉調査の結果から、確認された鳥を主な生息環境により区分し、種類や確認個体数をルート別に平均して比較しました。

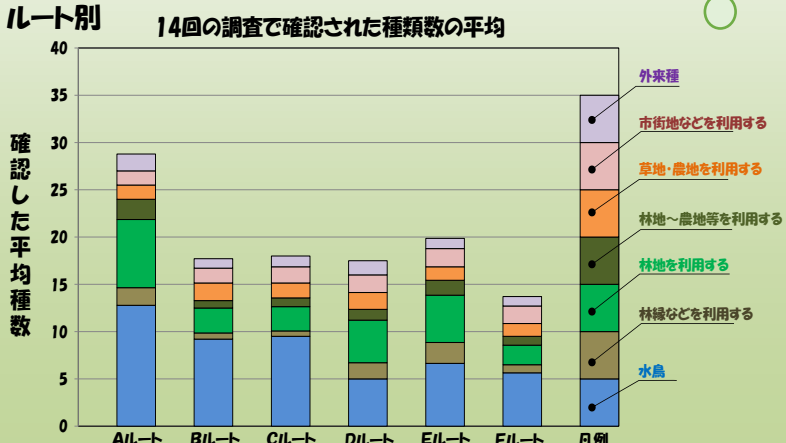
▶ **全体**  
冬の時期に、約 38 種の鳥が、善福寺川とその川沿いで観察できることが分かりました。そのうち「水鳥」は、約 17 種でした。

▶ **ルート別**  
● 最も多くの鳥がみられたのは、Aルート(善福寺池)で、約 28 種類でした。このうち「水鳥」は、約 12 種類でした。  
● 種類が最も少なかったは最下流部のFルートで約 14 種類でした。「水鳥」は約 6 種類でした。  
● 「水鳥」の種類が最も少なかったのは、善福寺川緑地の中を通るDルートでした。  
● 「林縁」「林地」「林地～農地」を利用する鳥は、A、D、Eルートで多く、その種類は、10 種類程度でした。

### ● 全体 (38 種)



### ● ルート別



< 外来の鳥 >  
ガチョウ、バリケン、ドバト、  
ホンセイインコ

< 市街地などを利用する鳥 >  
スズメ、ハシフトガラス

< 草地・農地を利用する鳥 >  
ジョウビタキ、ムクドリ、ハシボソガラス

< 林地などを利用する鳥 >  
トビ、オオタカ、ツミ、キジバト、オナガ

< 林地を利用する鳥 >  
アオゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、ルリビタキ、  
アカハラ、シロハラ、ウグイス、エナガ、  
シジュウカラ、メジロ、シメ、アトリ

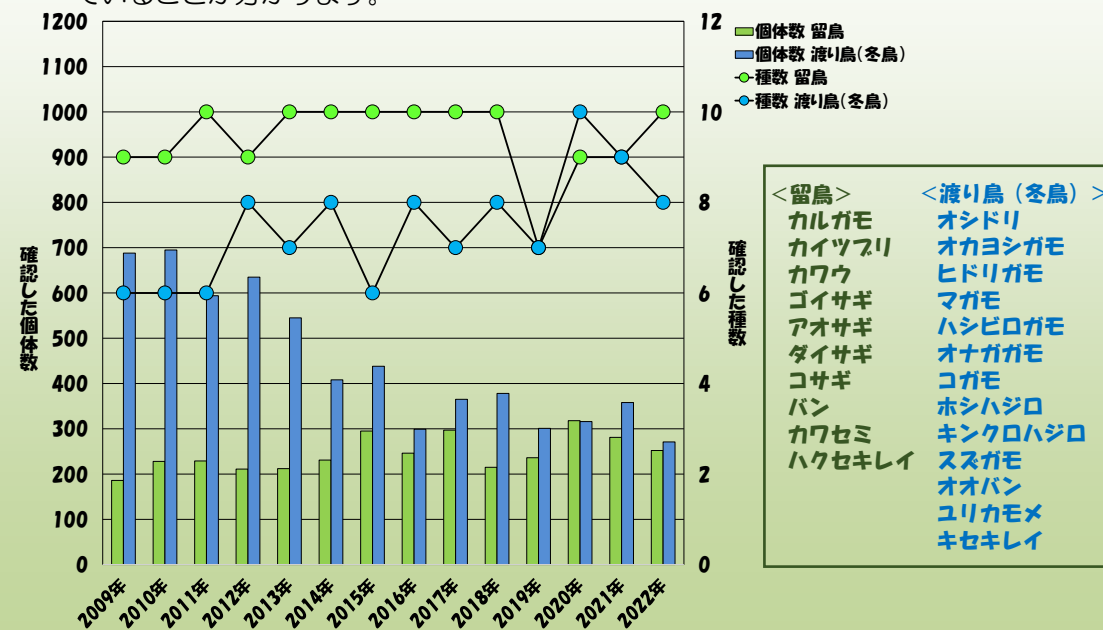
< 林縁などを利用する鳥 >  
モス、ツグミ、アオジ、カワラヒワ

< 水鳥 (水辺を利用する鳥) >  
カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、  
コサギ、アオサギ、オシドリ、オカヨシガモ、  
マガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、  
オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、  
キンクロハジロ、スズガモ、バン、オオバン、  
カワセミ、キセキレイ、ハクセキレイ、  
セグロセキレイ、ユリカモメ

※調査時間外のみ確認種は除く

## ◇水鳥における渡り鳥と留鳥の確認状況の変化

- 鳥は、一年中その場にいる留鳥と定期的に長い距離を移動する渡り鳥に分けられます。
- 冬の時期にみられる善福寺川の水鳥は、確認個体数は渡り鳥(冬鳥)が多く、確認種類数は留鳥が多くなっています。
- ただし2014年頃から渡り鳥の確認個体数が減少し、留鳥の確認個体数はわずかに増えています。
- 確認種類数は、渡り鳥で年による変動がやや大きく、留鳥は概ね9~10種類と安定していることが分かります。



## ◇善福寺川と杉並区全域の確認種の比較

14回の調査で、善福寺川では約 50 種類もの鳥を確認することが出来ました。

このうち、水鳥は 24 種類(雑種等を除く)で、これは杉並区全域で確認されている水鳥(25 種類)のほとんどに該当します。

水鳥以外の鳥についても、杉並区で観察される鳥の種類の半分以上を観察できることがわかりました。

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1		
カモ	カモ	カモ	オシドリ	冬鳥	●	●		
			オカヨシガモ	冬鳥	●	●		
			ヒドリガモ	冬鳥	●	●		
			マガモ	冬鳥	●	●		
			カルガモ	留鳥	●	●		
			ハシビロガモ	冬鳥	●	●		
			オナガガモ	冬鳥	●	●		
			コガモ	冬鳥	●	●		
			ホシハジロ	冬鳥	●	●		
			キンクロハジロ	冬鳥	●	●		
			スズガモ	冬鳥	●	●		
			マガモ×カルガモ	不明	●	●		
			カルガモ×オナガガモ	不明	●	●		
			カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	●	●
			カワウ	カワウ	カワウ	留鳥	●	●
			サギ	サギ	ゴイサギ	留鳥	●	●
					アオサギ	留鳥	●	●
ダイサギ	留鳥	●			●			
チュウサギ	留鳥	●			●			
コサギ	留鳥	●			●			
クイナ	クイナ	バン	留鳥	●	●			
		オオバン	留鳥	●	●			
チドリ	チドリ	チドリ	旅鳥	●	●			
		コチドリ	旅鳥	●	●			
		イソシギ	旅鳥	●	●			
フツボウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	●	●			
		カワセミ	留鳥	●	●			
スズメ	セキレイ	キセキレイ	留鳥	●	●			
		ハクセキレイ	留鳥	●	●			
		セグロセキレイ	留鳥	●	●			
		セグロセキレイ	不明	●	●			
計(雑種は除く)				24	25			

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1		
水鳥以外の鳥	ハト	ハト	キジバト	留鳥	●	●		
			ツツドリ	旅鳥	●	●		
			カッコウ	カッコウ	旅鳥	●	●	
			アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	旅鳥	●	●
					ヒメアマツバメ	不明	●	●
			タカ	タカ	トビ	不明	●	●
					ツミ	留鳥	●	●
					ハイタカ	不明	●	●
			キツツキ	キツツキ	オオタカ	留鳥	●	●
					コゲラ	留鳥	●	●
			ハヤブサ	ハヤブサ	アオゲラ	留鳥	●	●
					チョウゲンボウ	不明	●	●
					サンコウチョウ	旅鳥	●	●
			カラス	カラス	モス	冬鳥	●	●
					カケス	不明	●	●
					オナガ	留鳥	●	●
					ハシボソガラス	留鳥	●	●
ハシフトガラス	留鳥	●			●			
ヤマガラ	留鳥	●			●			
シジュウカラ	冬鳥	●			●			
ヒガラ	冬鳥	●			●			
シジュウカラ	留鳥	●			●			
ツバメ	夏鳥	●			●			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	●	●			
		ウグイス	冬鳥	●	●			
		ウグイス	冬鳥	●	●			
エナガ	エナガ	エナガ	留鳥	●	●			
		メボリムシクイ	留鳥	●	●			
		エゾムシクイ	留鳥	●	●			
ムシクイ	ムシクイ	エゾムシクイ	留鳥	●	●			
		センタイムシクイ	留鳥	●	●			
		センタイムシクイ	留鳥	●	●			
スズメ	スズメ	メジロ	冬鳥	●	●			
		メジロ	冬鳥	●	●			
		ヨシキリ	留鳥	●	●			
		ムクドリ	留鳥	●	●			
		ムクドリ	留鳥	●	●			
		シロハラ	冬鳥	●	●			
		アカハラ	冬鳥	●	●			
		ツグミ	冬鳥	●	●			
		ルリビタキ	冬鳥	●	●			
		ジョウビタキ	冬鳥	●	●			
ヒタキ	ヒタキ	ジョウビタキ	冬鳥	●	●			
		エゾビタキ	旅鳥	●	●			
		コサメビタキ	旅鳥	●	●			
		キビタキ	旅鳥	●	●			
		オオルリ	旅鳥	●	●			
		スズメ	留鳥	●	●			
		セキレイ	留鳥	●	●			
		アトリ	留鳥	●	●			
		カワラヒワ	留鳥	●	●			
		シメ	留鳥	●	●			
ホオジロ	ホオジロ	ホオジロ	不明	●	●			
		カシラダカ	不明	●	●			
		アオジ	不明	●	●			
キジ	キジ	コジュケイ	留鳥	●	●			
		カワラバト(ドバト)	留鳥	●	●			
ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	留鳥	●	●			
		ホンセイインコ	留鳥	●	●			
インコ	留鳥	●	●					
スズメ	不明	●	●					
計(雑種は除く)				28	52			

※1「杉並区自然環境調査報告書(第7次)」 調査は1985~2018年の間に10回実施。旅鳥は除く。

## ◇これまでの調査で確認された注目すべき種類

- 国や都のレッドデータブックに掲載されている種類をみると、21種類が該当しました。これらは、善福寺公園のあるAルートで最も多く、次いでCルートとEルートで多く確認しています。

目名	科名	種名	国RD※1	東京都RD※2	これまでの調査で確認された場所					
					Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		NT	●					
コウノトリ	サギ	ゴイサギ		VU	●		●			
		ダイサギ		NT		●			●	
		チュウサギ		NT		●				●
カモ	カモ	コサギ		VU	●			●		
		オシドリ		DD	EN			●		
		ホシハジロ		VU	●			●		●
		スズガモ		*			●			
タカ	タカ	トビ		NT	●					
		オオタカ		NT	EN	●				●
		ツミ		EN	●					●
ツル	クイナ	フスリ		CR						
		バン		EN	●					●
		オオバン		CR	●			●		
フツボウソウ	カワセミ	カワセミ		VU	●		●		●	
キツツキ	キツツキ	アオゲラ		EN	●			●		●
		セキレイ		VU	●		●			●
スズメ	セキレイ	モス		CR	●					●
		セグロセキレイ		VU	●			●		
		シジュウカラ		VU	●					●
アトリ	アトリ	ヤマガラ		NT						●
		ウソ		NT						●
カラス	カラス	オナガ		NT					●	
種数の合計					14	8	11	6	9	5

※1 レッドデータブック(環境省2020)  
NT: 準絶滅危惧  
DD: 情報不足

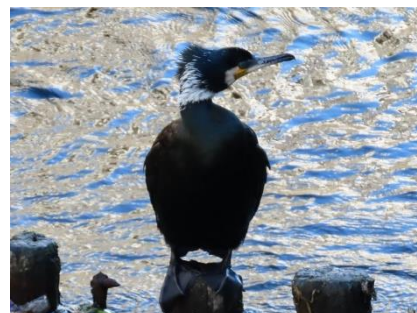
※2 東京都レッドデータ(東京都2020)  
CR: 絶滅危惧ⅠA類  
EN: 絶滅危惧ⅠB類  
VU: 絶滅危惧Ⅱ類  
NT: 準絶滅危惧  
\*: 留鳥種



# 本調査で確認された鳥たち



カイツブリ



カワウ



ゴイサギ



ダイサギ



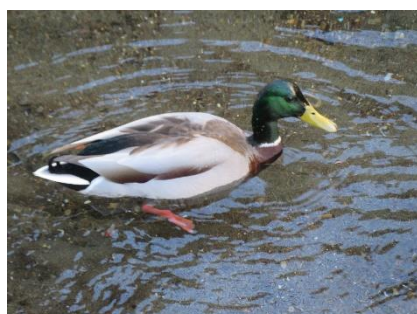
コサギ



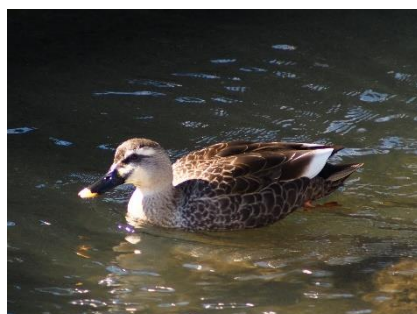
アオサギ



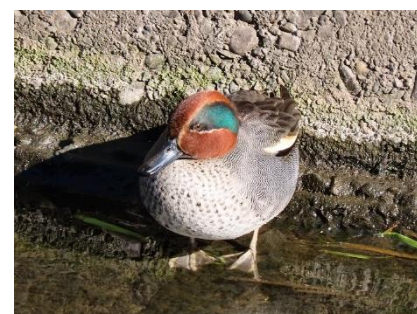
ヒドリガモ



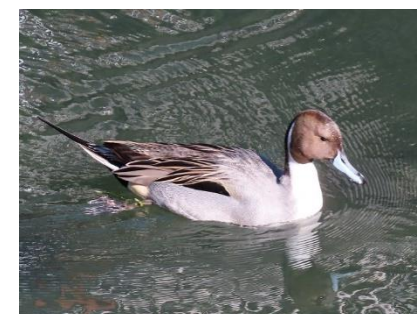
マガモ



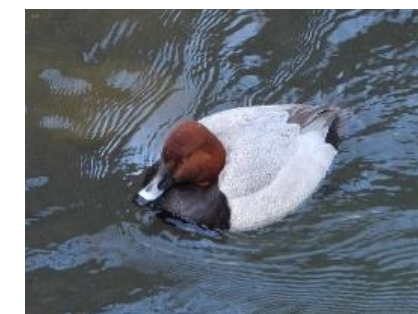
カルガモ



コガモ



オナガガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ



オオタカ



バン



オオバン



キジバト



カワセミ



キセキレイ



ハクセキレイ



ヒヨドリ



モズ



ツグミ



エナガ



シジュウカラ



メジロ



アオジ



カワラヒワ



アトリ



ムクドリ